



八 幡 小 だ よ り

北九州市立八幡小学校

校長 田頭 麗宏



紫陽花や 赤に化けたる 雨上り

正岡 子規



6月に入りました。今年は異常に早い入梅でしたが、この数日は、夏の訪れを感じられるような天候でした。しかし、毎年のように梅雨時の大雨で土砂災害が起きています。一方、好天でも「光化学オキシダント」や「PM2.5」等を気にしなければなりません。もちろん、高温の日には熱中症防止にも留意するなど、新型コロナウイルス感染防止ともども健康安全を第一に考え、子どもたちが学校生活を送れるようにしたいと思います。

新年度が始まって二ヶ月がたちましたが、緊急事態宣言の延長もあり、年度初めからの緊張感と制限は依然継続されるようです。紫陽花（アジサイ）の花の色のように、雨上がりにこの困難

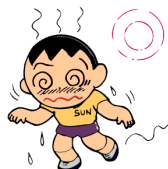


な状況が一変してくれたらな、と願いたくもなりますが……。厳しい中ですが、この一ヶ月は、落ち着いた生活習慣の定着や学習の雰囲気づくりに取り組んでまいりたいと思います。

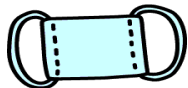
熱中症に注意しながら… 感染対策を続けながら…

熱中症とは、暑さの中で起こる障害の総称で、けいれんやめまい、吐き気、頭痛、そしてひどい場合には意識障害、多臓器障害を引き起こすこともあります。

熱中症はそれほど気温が高くなくても湿度が高い場合には発生します。また、急に暑くなったとき、その暑さに体が慣れていないと多く発生するそうです。体調にも左右されます。



学校では、適宜適切な水分補給をするように、また、急激に激しい運動をすることのないよう注意しています。とくに、現在マスク着用が生活の「当たり前」になっています。当然ながら、マスクを着用するときには、着用しないときに比べて熱中症のリスクが高まります。とくに心配なのは、教職員の目が届かない登下校時です。そこで、昨年度から『暑くて体調が悪い時などには周りに人がいないことを確かめてマスクを外して休む』ように



しています。これまで他校で、マスクを外しての会話により感染したり、濃厚接触者になったりした子どもたちがいることから、大変難しいのですが熱中症対策と新型コロナウイルス感染対策とを両立させなければなりません。ご家庭でも、暑くてマスクを外す時の注意についてお話しいただきますようお願いいたします。

また、風通しのよい服装や帽子の着用など、暑さ対策に関するご配慮も、合わせてお願いいたします。

がんばりどころです！

～ 6月に予定していた行事等を変更します ～

緊急事態宣言延長に伴い、子どもたちが楽しみにしていたプール学習をはじめ、多くの行事が中止や延期となってしまいました。本当に悔しいのですが、ここは我慢のしどころ、がんばりどころだと自らに言い聞かせるしかありません。変更の詳細は昨日配布したプリントでご確認ください。なお、40分授業などは継続します。



本校では、緊急事態宣言発令後、朝の健康チェックを丁寧に行うために教職員の数を増やしています。以前からお伝えしているように学校クラスターを予防する「水際作戦」の場だからです。残念ですが、まだ毎日5人くらいが健康チェックリスト表を忘れたり、記載漏れがあったりして、ご家庭に連絡を取っています。朝の忙しい時間帯ではありますが、確実に検温とサインの後、ランドセルに入れるようお声掛けをお願いいたします。

去年の今頃、学校が再開して「新しい学校の生活様式」にとまどう場面が多かったことを思い出します。子どもたちを見ていると「慣れ」が「緩み」になっている様子はいかがえません。先が見えない辛さを乗り越えがんばっている子どもたちが、少しでも楽しい日々を送れるよう、学校生活の充実を目指していきます。

「オンライン面談」にチャレンジします

家庭訪問に代えて、初の『オンライン面談』を計画しました。「ピンチをチャンスに変える」つもりで取り組みます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

